

II 15周年記念事業の紹介

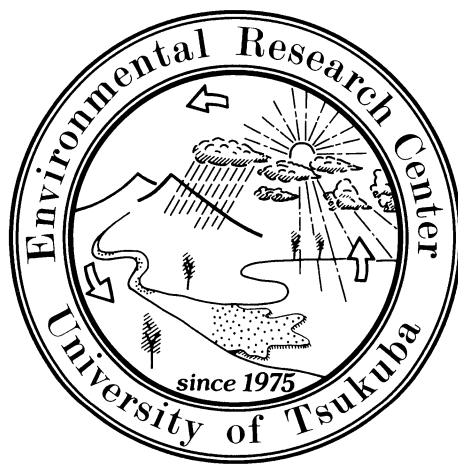
筑波大学水理実験センターは、1975年4月1日に発足し、1990年4月1日で満15年となりました。これ迄も、5年、10年の節目に、歴代センター長による巻頭言、それまでの過去5年間のセンターの歩みや研究成果の報告等を取りまとめて、その年の水理実験センター報告に載せてまいりました。(センター報告第6号(1982年)および第10号(1986年)参照)。

5年、10年は、誕生したばかりの新生センターが、研究センターとしてその機能を発揮できる様に育成する時代であったと思います。15年といえは、元服し、一人前の研究機関として独目の道を模索し始める年頃です。そこで、この15周年を記念した企画として新たなシンボルマークの公募と、15周年記念特集号として、水理実験センター報告の特集号の出版を運営委員会の承認を得て計画いたしました。

シンボルマークの公募は、1990年3月の速報つくば(筑波大学の教職員対象の学内広報誌)および1990年4月のスチューデント(学生・院生対象の学内広報誌)を通して募集をした結果、学内外より総数25件の応募作品があり、その中からセンター関係者8名による二段階無記名投票によって、下図のマークが最優秀作として採用され、活用されることになりました。

また、15周年記念号は目次案の検討が1990年1～2月に行われ、1990年5月に原稿依頼、そして、ようやく1年後に印刷され、今日皆様のお手元に届けられた次第です。

現在、水理実験センターでは、新たな飛躍を目指して色々な方面に働きかけをしています。この15周年記念事業の成果が、これらの飛躍に結びつくことを期待しています。



水理実験センターの新シンボルマーク
(筑波大学地球科学系・嶋田 純講師草案)